

特殊詐欺通信

発行：宇都宮市
消費生活センター

● 市内特殊詐欺被害

宇都宮市では、1～3月の間に
計22件の特殊詐欺被害が発生しています。



被害件数、被害額ともに、前年同
月と比較して増加しています。

○宇都宮市内及び栃木県内の被害状況

	R8(1月～3月)		R7(1月～3月)	
	件数	金額	件数	金額
宇都宮市	22	1億1,274万円	7	2,254万円
栃木県	48	4億962万円	35	2億1,555万円

※資料提供は栃木県警察本部

● 特殊詐欺の種類別被害

「オレオレ詐欺」が多く発生しており、
全体の約7割を占めています。



「オレオレ詐欺」のうち、警察官等をかた
り、捜査名目で現金等をだまし取る「ニセ
警察詐欺」の被害が多く発生しています。

○特殊詐欺の種類・被害件数等

	R8(1月～3月)	
	件数	金額
オレオレ詐欺	15	7,576万円
架空料金請求詐欺	5	3,663万円
融資保証金詐欺	1	10万円
交際あっせん詐欺	1	25万円
計	22	1億1,274万円

こんな相談・被害が発生しています！！

携帯電話に警察官を名乗る人から「資金洗浄で逮捕した男の自宅から、あなたのキャッシュカードが見つかり、共犯の疑いがかかっている」と連絡があった。検察官を名乗る人からはビデオ通話で「お金の番号を確認したい」と言われ、指示に従って暗号資産用の口座を開設し、購入した暗号資産を指定されたアドレスに送金した。(東署)

携帯電話に通信事業者を名乗る人から「あなた名義の携帯電話が不正契約されている」と連絡があった。警察官を名乗る人に代わり、「あなたの携帯電話から投資詐欺の迷惑メールが送信され、被害が出ているので逮捕する。無実を証明するには、保釈保証金制度を利用し、検察官が調査する必要がある」と言われ、インターネットバンキングで指定された口座に現金を振り込んだ。(中央署)

自宅のパソコンでインターネットを閲覧中、警告音が鳴り、画面にソフトウェア会社のロゴと電話番号が表示された。電話をかけると、スタッフを名乗る人から、「リモートで修復作業をする」と言われ、インターネットバンキングで指定された口座に現金を振り込んだ。(南署)



不安なときは 消費生活センター (616-1547)
警察の相談ダイヤル (#9110) へ